

第13回ケア環境改善フォーラム

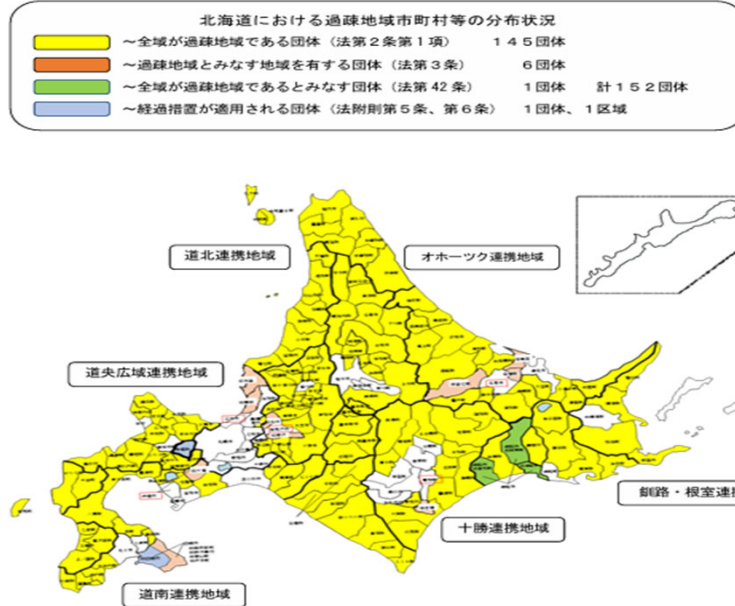
地域で見守る認知症 ～砂川モデルと多職種チームの取り組み～

2025年8月21日（木）

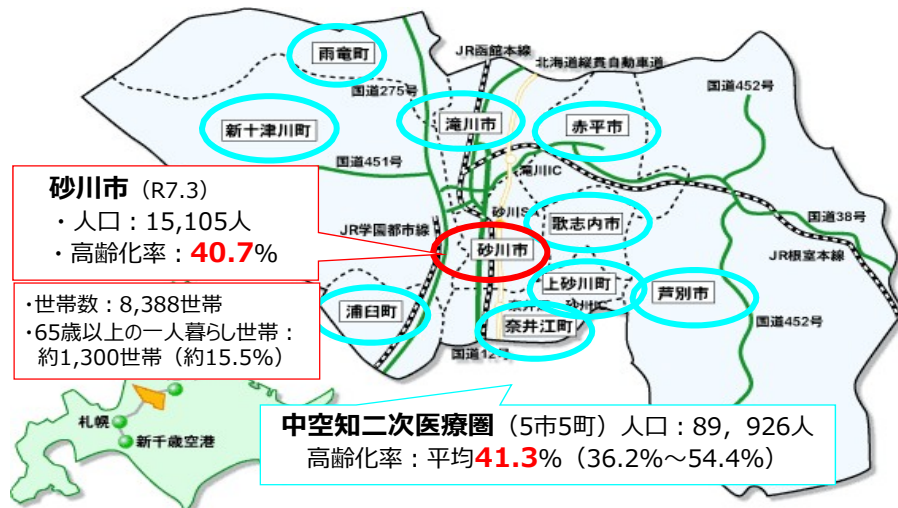
砂川市立病院 看護部長 認定看護管理者 細海加代子
認知症疾患医療センター看護師長
老人看護専門看護師 認知症看護認定看護師 福田 智子



全過疎



空知地方（中空知）



国政調査

- ・人口減少率が高い全国の上位5市のうち3市は、いずれも空知管内
- ・65歳以上の割合が高い全国10市のうち、4市が空知管内

少子
高齢化

施設紹介

2010年に全館改装

- 入院基本料の施設基準
急性期一般入院料 1
精神病棟10：1
救命救急入院料 1
特定集中治療室管理料 2
小児入院医療管理料 4

- 指定
中空知地域センター病院
地域救命救急センター
救急告示病院
へき地医療拠点病院
災害拠点病院
第2種感染症指定医療機関
地域周産期母子医療センター
北海道認知症患者医療センター
地域がん診療連携拠点病院



- 許可病床数 405床
一般 321床
精神 80床
感染 4床

- 診療科目 29科



看護部理念とナイチンゲール看護

看護部理念

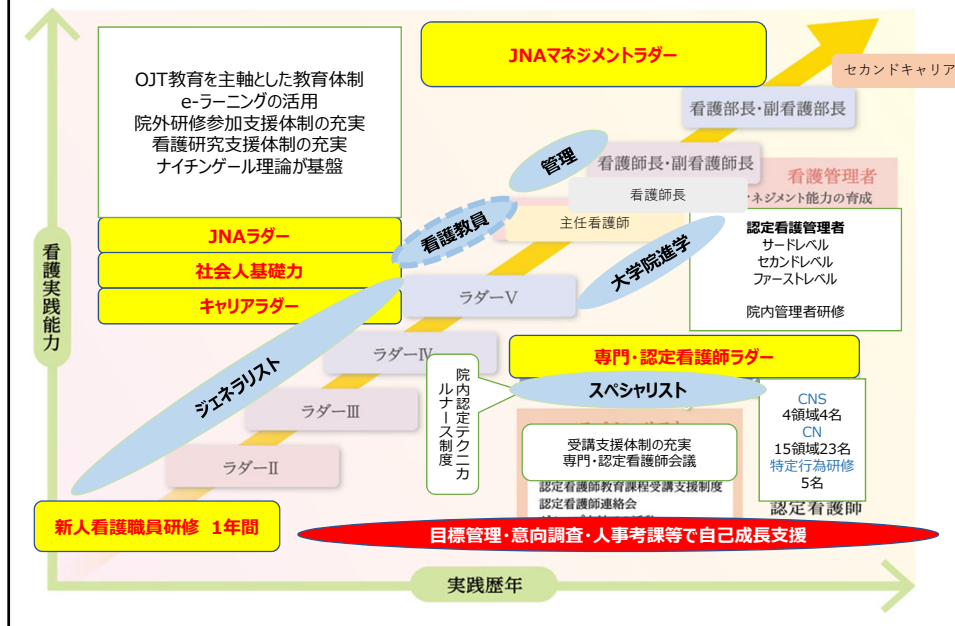


ひとりひとりに関心をもち、
もてる力を高め誠実な看護を
実践します

地域に親しまれ、
安心できる看護を提供します

看護提供方式
セル看護提供方式[®]

砂川市立病院 看護部 キャリアパス



平成28年3月末に発刊



高齢者を支える地域包括ケア実現のための屈指のモデルを公開！

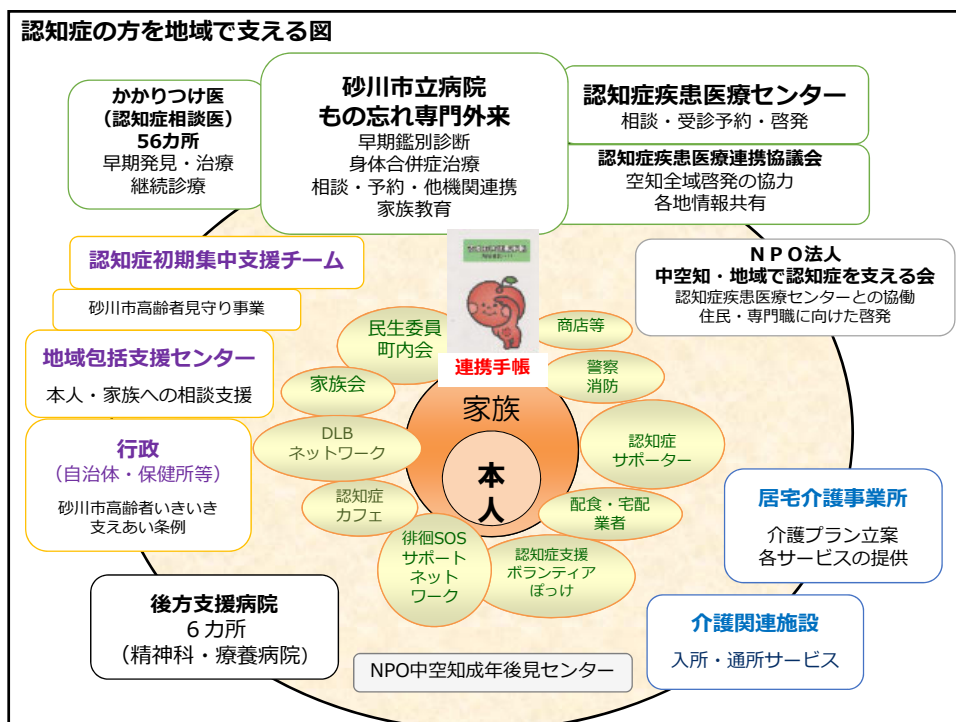
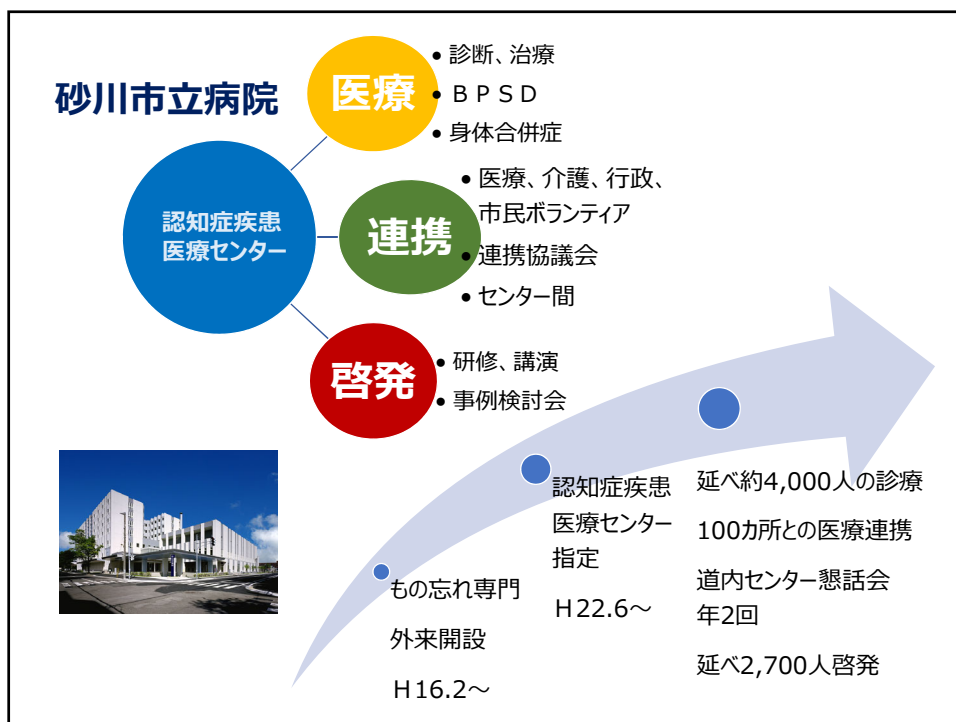
地域包括ケアってなあに？ 地域で見守る認知症

砂川モデルを全国へ

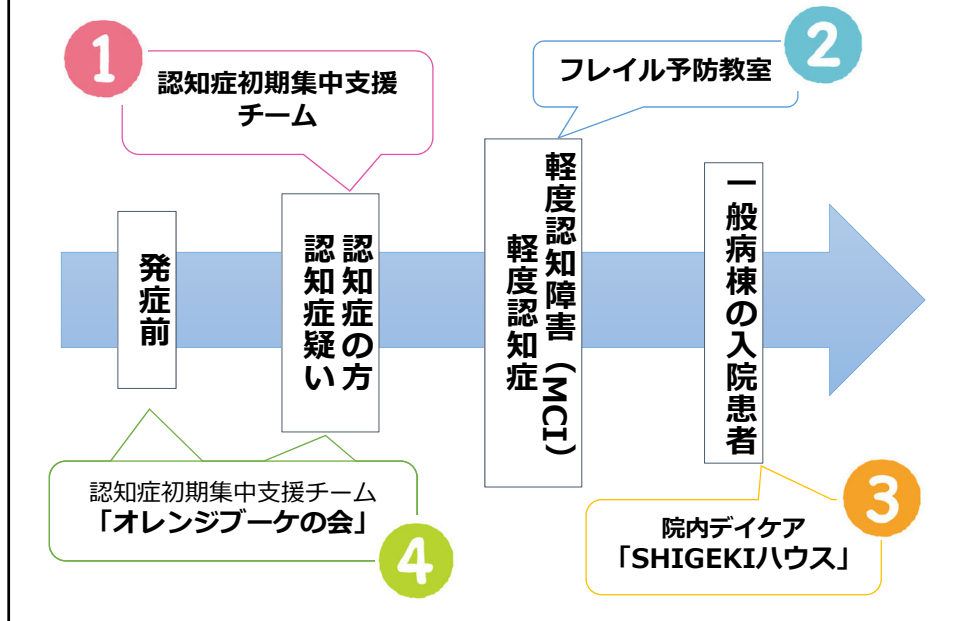
NEW

砂川市立病院認知症疾患医療センター長/理事長
内海久美子 編

医学と看護社 出版



認知症のさまざまな病期に応じた多職種での取り組み



1. 認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的・集中的（おおむね6か月）に行い、自立生活のサポートを行うチーム

認知症初期集中支援チームのメンバー



専門医
(認知症サポート医)

医療と介護の専門職

(保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士等)

【対象者】

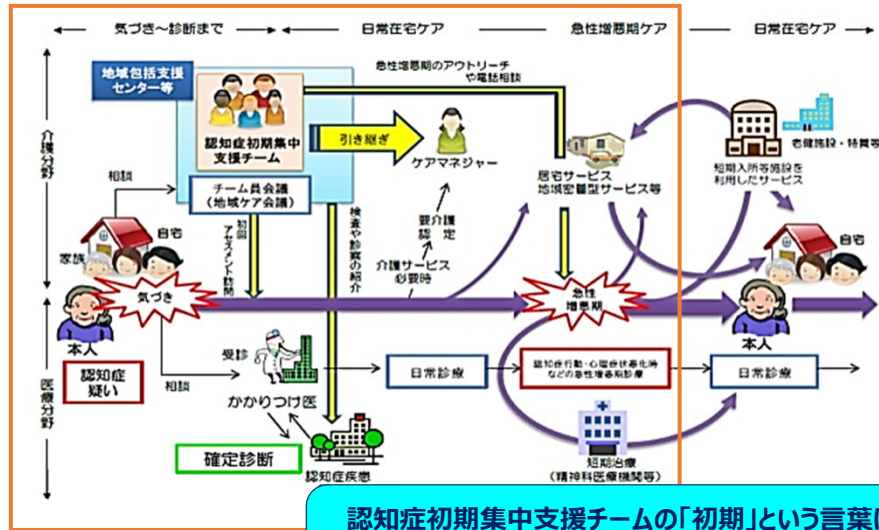
40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人または認知症の人で以下のいずれかの基準に該当する人

- ◆医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人
 - (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない人
 - (イ) 継続的な医療サービスを受けていない人
 - (ウ) 適切な介護保険サービスに結びついていない人
 - (エ) 診断されたが介護サービスが中断している人
- ◆医療・介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している

設置場所 地域包括支援センター等

診療所、病院、認知症疾患医療センター、市町村の本庁

認知症初期集中支援チームの位置づけ



認知症初期集中支援チームの「初期」という言葉は

- ◆ 認知症の発症後のステージとしての初期
- ◆ 認知症の人へ関わりの初期（ファーストタッチ）

砂川市認知症初期集中支援チーム

(平成26年9月より始動)

砂川市地域包括支援センター

介護福祉士
(主任看護支援専門員)

**合同
チーム**

- * チームは地域包括支援センターに設置
- * チーム員会議は定期的に月1回開催

<特徴>
砂川市高齢者見守り事業との協働

砂川市立病院
認知症疾患医療センター

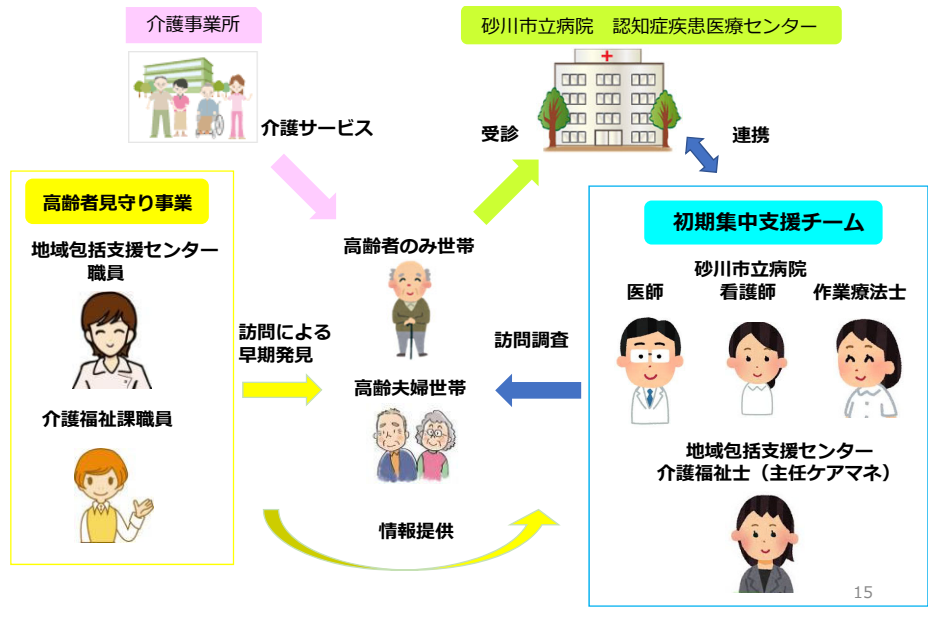
医師
(精神科医・認知症専門医・
認知症サポート医)

看護師
(認知症看護認定看護師・
老人看護専門看護師)

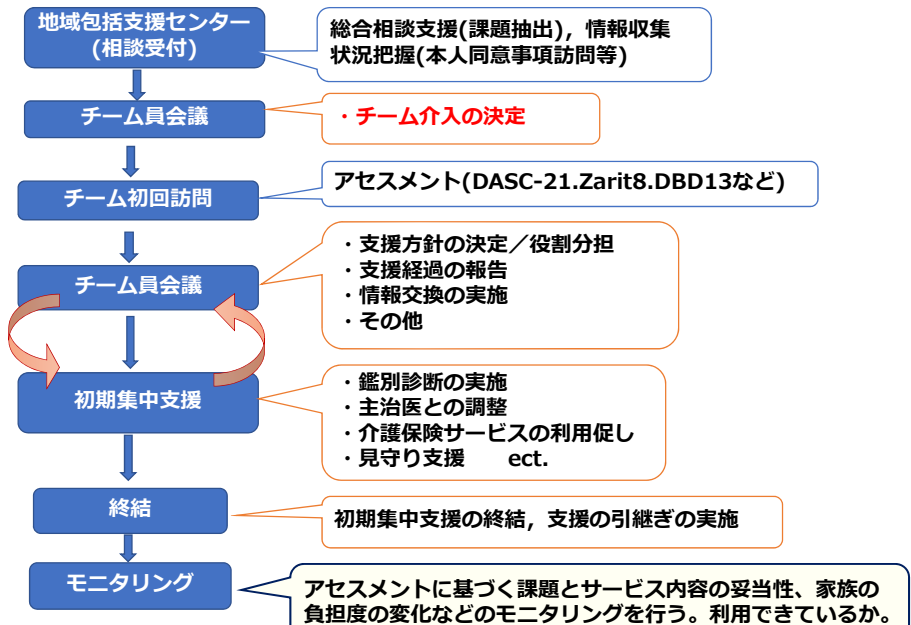
作業療法士

平成25年より砂川市においては、条例を定めて民生委員・町内会との情報交換を行い、地域包括職員と高齢者福祉課職員が高齢者のお宅を一軒一軒訪問して見守りの必要性をアセスメントし見守りにつなげていく事業。

高齢者見守り事業と初期集中支援チームの協働



認知症初期集中支援のプロセス



2. 診断後支援「フレイル予防教室」

- 対象** 外来通院中の以下の患者
・軽度認知障害（MCI）
・軽度認知症
- 期間** 5月～10月まで月1回（計6回）
- 時間** 13：30～14：30
- ・作業療法士を中心に多職種（医師・看護師・精神保健福祉士）で実施

<内容>
・自己紹介
・コグニサイズ
・談話 など



令和7年度 軽度認知障害の方対象

今年も やります

愉快的な スタッフが 登場

認知機能を維持・向上させよう!

フレイル予防教室

2025年 5月～10月まで
毎月第2木曜日
13：30～14：30

もの忘れの工夫をどうしてるの？

認知機能を高める運動？

申し込み・お問い合わせ 砂川市立病院 認知症疾患医療センター
※ 担当：福田 広本 大山 電話番号：0125-54-2131（代表）

3. 院内デイケア「SHIGEKIハウス」

2023年6月OPEN

目的 入院患者の日中の活動の提供や環境変化による症状の改善・意欲の向上

対象者 一般病棟の入院患者

- ・精神科リエゾンチームが介入している患者
- ・感染症がなく身体状態が安定しており車椅子（椅子）に1時間程度座位で過ごせる患者

開催日 週2回（水曜日と木曜日）

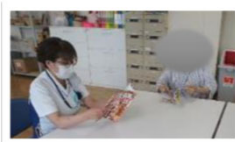
時間 13：30～15：30

場所 精神科作業療法室

担当 作業療法士・看護師

参加手順

1. 病棟からの参加希望を確認
2. 作業療法士と看護師が病室へ出向き、患者本人の参加意向を確認し決定
3. 送迎は病棟スタッフ



待ち時間



DVD体操



ゲーム



整容
身だしなみ

4. オレンジブーケの会

砂川市認知症初期集中支援チーム

月1回 地域で暮らす高齢者と認知症ご本人
病院 包括 市役所 介護施設のスタッフなど



認知症の方もそうでない方も一緒に
「楽しいこと」「やりたいこと」
「みんなとだからできること」を
話し合いながら行っています

SUNAGAWA CITY MEDICAL CENTER

エプロン
三角巾
200円
持ってきてね

歳を取ると1人で
するのが億劫に
でも、
みんなとだから
できるかも
その時を
一緒に楽しもう！



手作りたこ焼きで
オレンジブーケの会をお祝いしよう！

みんなで人と関わる楽しさ実感しませんか？
材料費はみんなで割り勘です！

4月22日（火）13：30

集合場所 砂川市立病院 正面玄関

問い合わせ：0954-砂川市認知症初期集中支援チーム

「認知症の人を支える」から「共に歩む」へ

古い認知症観から

他人事として捉える
認知症になると何もできなくな
る、何もわからなくなる
認知症になったら終わり
本人は支援される一方
地域で暮らすのは無理

新しい認知症観へ

自分事として捉える
認知症になってもできることは
たくさんある
希望をもって暮らし続けられる
本人は支え手でもある
経験者として大切
地域の一員として暮らし
活躍する